

重要 書籍「ルールの解説 Q&A 競技規則 2025 対応版」の補足とお詫び

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、本連合の普及・振興事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年2月末より頒布を開始しております書籍「ルールの解説 Q&A 競技規則 2025 対応版（初版：2025 年2月 28 日発行）」につきまして、規則上の誤りではございませんが、誤解を招きやすい表記が含まれておりました。

つきましては、下記のように補足をさせていただくとともに、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

敬具

2025 年 9 月 29 日
公益財団法人日本ゲートボール連合

記

Q & A 2025 対応版：210 ページ『反則処置一覧表』

第9条 打者のプレーと権利 / 第2項 タイムオーバー（規則P16）		
	反則の内容	自球の処置
現 行	(1) 10 秒以内に打撃またはスパーク打撃をしなかった場合	反則が発生した時点の位置（そのままの位置）
	※ スパーク打撃にかかわる行為中にタイムオーバーとなった場合、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2. の処置を適用する（自球はすべてアウトボールの処置）。	
	※ スタート打撃時の場合、自球はフィールドから取り除く。	
	反則の内容	自球の処置
補 足	(1) 10 秒以内に打撃（または継続打撃）をしなかった場合。 <u>※10 秒以内にスパーク打撃をしなかった場合は下記のとおり。</u>	反則が発生した時点の位置（そのままの位置）
	※ スパーク打撃にかかわる行為中にタイムオーバーとなった場合、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2. の処置を適用する（自球はすべてアウトボールの処置）。	
	※ スタート打撃時の場合、自球はフィールドから取り除く。	

※ 書籍「審判員資格試験想定問題集 2025 対応版（2025 年 9 月 30 日発行）」に記載の『反則処置一覧（P178・179）』については、今回の補足版を記載しています。

以上